

北大病院で全身麻酔を受けられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肝切除術後における止血能変化と硬膜外カテーテル抜去に伴う血腫リスクの検討

【研究機関】 北海道大学病院麻酔科

【研究責任者】 瀧田 恒一（麻酔科・講師）

【研究の目的】

肝臓の手術の麻酔では、手術後の痛みを和らげるために、硬膜外麻酔（背中から背骨の間を通して脊髄の近くに管を留置し、その管から痛み止めの薬を入れる）を全身麻酔に併用することが、日本では一般的です。肝臓は、出血を止めるために必要な物質を作っていることもあり、手術の直後では、出血を止血する能力が低下する可能も指摘されています。このため、手術後、硬膜外カテーテルを抜去に伴う出血（通常は少量）が止まり難く神経を圧迫する大きな血の塊（血腫）となる危険（重篤な場合は、手術が必要となります）が高まるのが危惧されます。

今回、私たちは、過去 27 カ月間に北海道大学病院消化器外科 I で肝臓切除手術を受けられた患者さんを対象として、肝臓切除後の止血の能力 {血小板数、PT/INR、aPTT という検査結果（肝臓手術前後には通常行われている検査です）を調べます} を検討し、肝臓手術の後、硬膜外カテーテルを抜去に伴う血腫の危険性が高まるかについて調べます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2010年3月から2012年6月の期間に北海道大学病院消化器外科 I で、肝臓手術（肝臓移植術を除く）を受けられた患者さん。

●利用するカルテ情報

(1) 年齢 (2) 性別 (3) 外科的診断名 (4) 合併症 (5) 術式 (6) 麻酔法 (7) 手術時間 (8) 麻酔時間 (9) 術中推定出血量 (10) 術中～術後 7 日までの血液製剤の投与量 (11) 術前～術後 7 日までの血小板数、PT/INR、aPTT の検査結果 (12) 硬膜外血腫の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院麻酔科 担当医師 瀧田 恒一

電話 011-706-7861 FAX 011-706-7861